

## 人口ビジョン

### 中長期展望(～平成72年)

#### 将来の目標人口

2040年(平成52年)に  
15,000人程度

2010年(平成22年)の  
70%程度の人口規模を維持

(2060年(平成72年)に  
12,000人程度の人口規模)

#### 〔社会減の抑制〕

##### 人口移動の均衡

：雇用の創出、人口流出抑制と町外からの流入増加、交流人口の増加

#### 〔自然減の抑制〕

##### 合計特殊出生率を

2030年(平成42年)に1.8へ引き上げ、以降継続

：出産・子育てしやすい環境づくり、子育て世代の移住・定住の促進

## 余市町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年度～平成31年度の5年間)

### 目指す姿：「みんなが集い、いつも安心して過ごせるまち よいち」

#### 《重点フィルタの設定と勘案》

本町が現時点で他地域に比べ持ち合わせているアドバンテージ、戦略の重要な社会的背景

1. 平成30年度の北海道横断自動車道余市ICの供用開始
2. ドラマ「マッサン」放映による本町の知名度向上及び交流人口の増加
3. 全国最上位のワインぶどう栽培量や特区制度を活用した、けん引役としてのワイン産業

#### 《基本目標と主な施策》

##### 1 「余市町の強みを生かし、産業の振興と雇用の創出を目指す」

- ・高速道路開通効果を生かした雇用の増加と働く場の創出
- ・ドラマ「マッサン」放映をきっかけに増加した観光入込の持続的な発展と域外からの資金流入の促進
- ・ワイン産業をけん引役とした第一次産業の担い手確保と地域経済の自立促進

##### 2 「余市町に住みたいという希望をかなえ、ひとの流れをつくる」

- ・利便性と自然環境のバランスの良さに都市部からのアクセス向上を付加した、移住やU/IJターンの促進
- ・ドラマ「マッサン」放映をきっかけとするJR余市駅前周辺地区の賑わいの維持と町内他エリアへの人の流れの創出
- ・ワインツーリズムの取組をはじめとした新たな交流人口の創出と人が留まるための仕組みづくり

##### 3 「若い世代の安定と、安心して子供を産み、育てられる環境をつくる」

- ・人の流れに呼応した若者のネットワーク拡大の促進
- ・地域で安心して子供を産み、育てられる環境づくりの検討
- ・地域全体で助け合い、地域で子供を育てるための取組の推進

##### 4 「町民が安心して暮らせるまちをつくり、広域連携を推進する」

- ・町民、関係団体との連携の強化による一体的な取組
- ・仁木町とのワインツーリズムによる連携をはじめ、他市町村、北海道との連携による地域ブランドの磨き上げ
- ・高速道路開通による後志地域の玄関口機能の発揮、地域産業の活力への還元

#### 《KPI(重要業績評価指標)》

- ・高速道路開通に伴う進出企業数…3件
- ・町内企業の合同説明会開催回数…5回
- ・町内の創業・起業件数…5件
- ・第一次産業への新規就業者数…15人

- ・移住相談窓口を通じた移住者の増加…10件
- ・新規住宅取得等支援による移住者の増加…5件
- ・町内居住者の新規住宅取得等支援利用件数…5件
- ・ドラマで増加した年間観光入込数の維持…100万人
- ・観光ボランティア登録者数…10人
- ・ホスピタリティ向上のためのセミナー実施回数…3回

- ・放課後児童クラブの拡充による利用児童数の増加…30名
- ・一時預かり事業の拡充による実施事業所の増加…3件

- ・仁木町と連携したワインツーリズムプロジェクトの推進による、しごとづくり、ひとの流れへの効果波及
- ・北海道と連携した、国際リゾートを核としたマッチング、国際化推進事業の効果波及